

令和7年度 結城南中学校区新設校に関する説明会報告書

1 説明会の実施概要

会場	実施日時	参加者数
絹川地区多目的集会施設	令和7年8月 9日(土) 10:00～11:00	49人
上山川就業改善センター	令和7年8月 9日(土) 14:00～15:00	43人
市立公民館	令和7年8月 9日(土) 17:00～18:15	32人
山川文化会館	令和7年8月10日(日) 10:00～11:00	42人
江川地区多目的集会施設	令和7年8月10日(日) 14:00～15:15	43人
合計（延べ人数）		209人

2 説明会における主な質疑応答のまとめ

質問・要望	回 答	在住地区
①国庫補助金の活用やふるさと納税制度等による財源確保に努めるとのことだが、ふるさと納税の現状と今後についてどのように予想しているか。	市外の方が結城市にふるさと納税をしていただいた際に、寄附金の使い道を答える欄があり、市長の提案する事業（新設小学校建設事業）を選択している方が20%弱ほどいる。毎年全体で平均1億円程度の寄附があるので、2割だと2,000万円ほどになる。ふるさと納税の金額も年度によって変わるが、何年か続けるとまとまった金額になると考えている。 結城市にゆかりのある方が多いと思うが、そういった方のうち2割ぐらいの方はぜひこれを推進してほしいとご支持をいただいている状況である。（副市長）	結城地区
②ふるさと納税が始まってから何年か経過しているが、傾向としては増額しているか。	ふるさと納税が一番多かったのは令和2年度だが、その後は1億円程度で、増加傾向というよりは、増えたり減ったりしている状況である。新設小学校に関する項目を記載したのが今年からなので今後の増加に期待したい。（副市長）	結城地区
③体育館の建設を断念したとのことだが、南中の体育館もいずれは老朽化する。この先の物価や人件費の高騰を見込むと、何年か先の建て替え費用の方が	今回出席している議員は一部であり、3月議会で修正議案が出されたときに、意見書を出しており、反対意見が何点かある。議員によっていろいろな視点があり、それらを総合して賛成や反対の立場をとってい	結城地区

今よりもかかってしまうのではないか。同じ工事をするなら2回に分けるよりも1回で工事したほうが効率的ではないか。どうして子どものための学校なのに大人のお金の都合で、できないのか。議員の方に反対の理由がお金なのか聞きたい。 (意見) 反対理由はお金に関することが大半である印象を受けた。行政サービスの低下を懸念していることは十分理解できるが、大人は行政サービスが気に入らなければ引っ越しできるが、子どもは学校が気に入らないとしても子どもだけの都合で転校できない。より良い教育環境を子どもに提供するのが今を生きる大人の役目だと思うので、ぜひ早急な建設をお願いしたい。	るので、事務局からお示しいただきたい。 (議員) 結城南中学校区新設校に関する特別委員会報告書の8項目の提言及び3月議会での予算修正案の提案理由について報告した。 (学校教育課)	
④説明会の開催はよろしいが、これは市議会の承認がされているのか。建築設計を見直す中で予備費を使ったことで百条委員会にかけられていると聞くので、承認は得ておらず、審議の途中段階だと思う。	令和7年度当初予算にて新設小学校に関する予算案を提出したが、そちらを削除する案が可決されたため、新設小学校建設に関する予算は無く、市議会の承認を得られていない状況である。 (学校教育課)	結城地区
⑤体育館の建設をカットしても40億円以上かかる。2校を1校で校舎を使えば、もっと費用が安くなる。40億円以下になるようなその他の計画は考えていないのか。	新設小学校建設に当たり「結城市学校適正配置等検討委員会」にて既存校の活用を検討した経緯がある。しかし、既存の1つの学校に統合すると、吸収合併のような話となり地域を含めた感情的な問題や、児童の通学距離に偏りがでてしまう。また、既存校を活用する場合でも高額な改修費がかかることから、新設小学校の建設という方	結城地区

	向性を示したところである。(学校教育課)	
⑥ 10年開校の計画でも3年後には各学年が単クラスになることが予測されるがどのように考えているか。今でも少人数のクラスがあるので、建物建設とは別にソフト面の少子化の教育をどうするか進めて行くべきである。例えば、複数の先生や複式授業など、教育のレベルを低下させないためにどのように考えているか。	今後、児童の数が減少していずれ1クラスになるときもくると考えている。そのような場合でも新設校の教室を空き教室にするのではなく多様な学びでいろいろな教室として活用すること、また中学生が新設校の校舎を利用することも十分可能なので、施設の有効利用を考えている。また、新設校の開校を契機に、結城の南部地域に移住したいという保護者やご家族が増えるような政策も併せて行い、できる限り子どもたちの数が減らないように努力していきたいと考えている。(学校教育課) 現在、新設小学校建設事業に5年かけており、また1から見直してさらに5年、10年と子どもたちの教育環境がこのままの状況でいいのかと考えている。市議会でも新設小学校建設予算が否決されたが、市議会を尊重しながら、できるだけ予算を圧縮するために断腸の思いで体育館を削ったところである。ただ、校舎については、地域の核となるような学校作りをしようということ、少なくなった子どもたちを大事に、誰1人取り残さないでそれぞれの発達段階に応じた教育を行うということをコンセプトに考えている。多様な価値観に小さい頃から触れ合わなければ、子どもたちの成長を促していけないと考えている。複式学級もいろんな地域で行われており、日本中どこも過疎化は進んでいるが、結城南中学校区の小学校については、今後子どもたちが減らないように魅力ある学校作りや「区域指定」制度を設けて、南部地域の建築制限を緩和しながら、南部地区に住みたいという人がたくさん出てくるような政策を打ち出していきたい。その中で、北部地域の学校のあり方も考えていかなければならな	結城地区

	い。力のある今のうちに手を打たないと将来の結城市はなくなってしまうという危機感を持って、子どもたちの教育環境をしっかり整えていくことこそが、私達の最大の務めだと考えている。行政だけでまちを作っていくわけではなく、市民の皆様の力があってこそ、まちが元気になり、活力が溢れてくると考えている。あくまでも子どもたちをどう育てるかについて議論をしていきながら、望ましい教育環境を作っていきたいと考えている。 (市長)	
⑦校舎の建設と並行してどのような学校にしていこうと考えているのか。	推進委員会の下部組織である専門部会の教育課程部会において「ふるさと学習」「プログラミング学習」「英語学習」の3つを柱にしながら、結城市らしい教育を推進し、魅力ある学校づくりを進めている。 (市長)	結城地区
⑧児童を減らさない政策を考えているということだが、具体的に何をどのようにするのか。	結城市で育った子どもたちが、将来、帰ってきたいと思ったときに帰ってこられる環境作りとして、奨学金の返済免除制度をつくった。令和2年に予定していた30歳の同窓会というものを企画はしていたが、コロナ禍でできなかった代わりに25歳から35歳の人たちに、同窓会を企画していただければ補助金を出そうということで現在やっている。 この学校づくりを起爆剤として、この学校は非常に良い学校だと選んでいただけるような学校づくりを進めていきたいと考えている。 新しい工業用地の開発により職場も増やし、子どもたちへのランドセル支給も始めた。できれば、皆様方のお子さんやお孫さんが結城市に帰ってくるようなまちにしていければと考えている。 (市長)	不明
⑨南部地区の方に新規に住宅を建てられるような規制緩和は	南部地域は市街化調整区域であり、一般的に住宅の建築には制限がある。その緩和	不明

考えているか。	を図るために「区域指定」という制度がある。その制度の導入を並行して進めており、令和10年4月の開校に間に合うように考えている。 (市長)	
⑩具体的な小学校跡地利用の方法と、何か利用するのであれば、ちゃんと経済的にプラスになるような利用を考えていると思うが、こういうことをやろうとしているということがあれば教えていただきたい。	跡地利用については、三つの視点で考えており、一つ目が公共利用、二つ目が地域利用、三つ目が民間利用、この三つの視点で跡地を考えていくことになる。公共利用は引き続き公共施設として市が管理をしていく。地域利用には地域の資源として、例えば集会施設として残していく。民間利用は民間に学校の活用についてのサウンディング調査を実施し、どういった利用ができるか調査した上で売却等の検討をしている。学校体育館は避難所指定をされているので、引き続き公共施設として管理しなければならないが、校舎やグラウンドだけの利用も考えられるので、専門家に意見を聞きながらより良い活用方法について検討していきたいと考えている。まだ具体的な検討組織は立ち上がっていないので、新設校の事業が進んだ際には、跡地利用を検討する専門組織を立ち上げていきたいと考えている。 (学校教育課)	結城地区
⑪お金を新設校に使う事と、空いている場所を使ってこういう補填ができるという事はワンセットだと思うが、それはこれからなのか。また、建物自体が雨漏りや老朽化しているという場合は、さらに費用がかかってくるが、トータルでプラスになるような計画はまだないということか。	一つ一つの学校について、具体的な方向性はまだ検討していない。ただし、利用したいという声があるので、きちんと民間事業者等にも施設を見ていただき、どういった利用ができるのか、改修等を含めた売却ができるのかなども含めて、他市の跡地利用の方法も参考にしながら、結城市にあるべき跡地利用の方法を検討していきたいと考えている。 (学校教育課)	結城地区
⑫体育館を今回削除したが、今の体育館がいつまでもつのか。将	結城南中学校の体育館も老朽化しているが、東日本大震災を経て改修工事が済んで	結城地区

来的には建て替えなければならないと思うが、その費用はどうするのか。	いるので、当面は体育館を使えると考えている。また、結城南中学校の体育館は2,000㎡ほどあり、結城市内の学校で一番大きな体育館である。この規模の体育館を維持していくとコストもかかってくるので、将来的には小学校と中学校を合わせた体育館を建設した方が、コストが安くなると考えているので、結城南中学校の体育館の耐用年数や児童生徒数の推移を踏まえ将来的に新しい体育館を建設することはあると考えている。(学校教育課)	
⑬図面上ではメディアセンターを吹き抜けで作っているが、吹き抜けではなくて天井にすれば坪数が半分減ると思う。2階の一部も図書室にするとか。ICTラボが内壁でガラス張りになっているが、吹き抜けをやめれば内壁がいらなくなる。そこを減らすことも考えたかどうか。設計を見直すと工事も遅れて先延ばしになるという話もあったが、これくらいの設計変更であれば3か月あれば直る。そんなに何年も変わるということではないと思うので見直しも必要だと思う。	メディアセンターの吹き抜けに関しては、2階部分に床があったほうが教室としては広く使えると思うが、ここは小中一貫校のシンボリックな施設を目指したいということでデザインの的にも非常にこだわっている部分である。貴重なご意見として頂戴させていただく。(学校教育課)	結城地区
⑭ワークスペースについては文科省が推奨しているので当然取り入れており、壁なども少なくなっているが、その分空調施設や設備機器が大きくなっているはずである。将来的な空調コストが相当かかる建物になると思う。そこをどの程度市の担当の方々は見てきているのかお聞きしたい。ここには載っ	ワークスペースに関しては、個別最適な学び、協働的な学びなど多様な学びに対応し、グループワークができるようなスペースを考えている。児童が活動する場所なので空調は必要ということで設計をしているが、空調も省エネタイプのものを選ぶなど、機器選定の中でなるべく価格を抑えながら高性能なものを選定しているのでご理解をいただきたい。新設校での太陽光パネルに関しては、将来的な維持費と売電との比較	結城地区

ていないが、熱源として太陽光を付けるとか、蓄電施設を置くというのであればいいと思うが、その辺もあわせて教えていただきたい。	でなかなかメリットがでないことや、環境負荷の面からも設けない方向で計画を進めている。子どもたちには環境教育として伝えていきたいと思うが、施設設備としては太陽光発電や蓄電池については設けない方針で設計を進めている。（学校教育課）	
⑮（意見）元教員の立場で感じている点をお話する。現状、結城南中学校区の小学校は全て単学級であり今後もずっと続く。子どもたちも親もこのままじゃ駄目だという気持ちがあり、地域もそうだと思う。新設校ができると言われてもう数年たっているが、このままでは子どもたちや保護者がかわいそうだと思う。いつなのだろうと思っている中、また延びてという感じである。一箇所にとめるという方向であれば、新しい出会いがある新しい場所が良いと思う。もし、中学校敷地内に小学校ができれば、小中の児童生徒の交流や先生方の交流ができて最高だと思う。中学校の先生が小学校に行って、理科の実験を専門の先生が教えに行くことができる。英語の先生や体育の先生も専門的に教えることができる。しかも、単発的ではなく継続的にできるという利点がある。今夏休みだが、小学生の夏休みの宿題を中学生が教えにいくことができることも考えられる。このような様々な仕掛けができる。子どもたちにとって最高なのではないかと思う。新しいものを取り		結城地区

入れるだけではなくて、小学校と中学校の交流がスムーズに行えれば、よく言われる中学1年生の不登校などもかなり解消できると感じた。		
--	--	--